



「宮っこの居場所づくり」の 状況について



子どもたちが気軽に行くことができ、大人の見守りのもと、遊んだり、宿題や食事をしたりしながら安心して過ごすことができる「子どもの居場所」の設置を促進するため、令和4年度から開設や運営に伴う経費の一部を市が助成するとともに、寄附の分配や居場所間の情報交換、研修会の開催、設置運営に係る相談支援など、様々な支援を開始しました。今回は令和4年度に新設された「子どもの居場所」における活動の様子を報告します。

令和4年9月に開始した「子どもの居場所 こどもてらす」の様子

NPO法人「雀宮まちづくりプロジェクト」では、地域の子どもたちが気軽に自由に集まり、自主的に活発に活動できる場や楽しく交流できる場を提供するため、JR雀宮駅の西口ロータリーにある旧JAうつのみや雀宮支所に「子どもの居場所こどもてらす」を令和4年9月、新設しました。

毎週月・水曜日の午後3時から6時（第2・4水曜日は午後3時から8時）に開設し、昔遊びや季節の行事、食事の提供など、体験の機会を提供しているほか、学生ボランティア等により学校の授業の予習復習をはじめとする学習支援や、挨拶・片付けなどの生活習慣が身につくよう声かけなどを行っています。

コロナ禍で気軽に友達の家へ遊びに行けない状況にある中、毎回、30から40名程度の子どもや保護者が参加し、一緒に過ごしながら交流を深めています。また、様々なボランティアの方が関わり、アットホームな雰囲気、クリスマス会や正月遊びなどを楽しむこともできました。



～より多くの子どもを居場所で見守るために～

宇都宮市青少年育成市民会議の構成団体のみなさまには、居場所を必要とする子どもや子育て家庭に対し、「子どもの居場所」をご案内いただくとともに、「子どもの居場所」への支援や担い手づくりにご協力いただきますよう、お願いいたします。

みなさまの地区において、「居場所への寄附や支援に協力したい」という方や、「居場所を始めてみたい」という方がいましたら、市民会議事務局へご連絡いただきますようお願いいたします。

子どもの居場所への登録要件は下記HPをご参考下さい



お問い合わせ

宇都宮市青少年育成市民会議事務局

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号 宇都宮市子ども政策課 健全育成グループ
Tel 028-632-2344 Fax 028-638-8941 E-mail : kodomomirai@city.utsunomiya.tochigi.jp



～地域で未来の担い手を育む～

宇都宮市青少年育成市民会議では、未来を担う宮っこが、心豊かに心身ともに健やかに成長できるよう、青少年の健全な団体活動や、社会参加を促進するための活動を実施するとともに、市民縦ぐるみで、ふれあいのある家庭づくり運動や健全な環境づくり運動を推進しています。

家庭・学校・地域・企業・行政などすべてがそれぞれの役割と責任を果たし、連携して活動し、大人自身が青少年の模範となることで、地域の未来の担い手となる“思いやりの心と夢をもった、たくましく生きる人間力豊かな青少年の育成”に努めていきたいと思います。



うつのみや
～家族のきずなを深める日としましょう～

ふれあいのある家庭づくり作品コンクール 青少年育成市民会議 会長賞が決定!!

写真部門

「こんにちは。にーにだよ」

會澤 蓮さんの作品

青少年育成市民会議にて実施している「ふれあいのある家庭づくり作品コンクール」。令和4年度は「家族」をテーマに947点の応募がありました。その中から、見事「青少年育成市民会議 会長賞」に入賞した作品をご紹介します。



その他の入賞作品や応募作品はHPから閲覧できます。
<https://fureainoarukatei.com>



宮っこフェスタ2022

宮っこフェスタ2022では、対面のイベント（11月19日開催）とオンラインの両方で多くの子どもたちが活躍しました。職業体験キッズみやでは、市内の小学生100名が31店舗で実際のお仕事体験を行い、まちなか商店街が大いに賑わいました。

また、オリオンスクエアのステージでは、青少年が企画から運営までを行う「青少年企画ステージ」をこの年から実施し、子ども食堂について独自の視点で発表を行いました。



Instagram



YouTube



青少年育成市民会議の構成団体の活動を紹介します。

緑が丘地区青少年育成会



食を通じて文化を学ぼう！ ミニ国際交流会

緑が丘地区青少年育成会では社会教育の原点に立ち、次世代を担う子どもたちに世界観を自覚してもらうため、「ミニ国際交流会」という事業を21年間続けています。日本の様々な文化を紹介し、意見交換の時間を作ります。また、日本の伝統文化である、茶道、手打ちそば作り、和菓子作り等グループごとに体験してもらいます。

体験する時間はそれぞれ50分。和菓子作りは自分の手で作った物が作品になるので大変喜ばれています。また、手打ちそばは粉を練る、伸ばす、蕎麦用包丁で切るなど普段では体験できないことに挑戦してもらっており、自分で作った蕎麦を試食してもらうなど、参加者は目を輝かせて体験しています。事業の締めは全員で食事です、児童はカレーライスにナン、外国人の方は手打ちそばを食べてもらいます。食についても文化を意識した事業となっています。

栃木県は多くの外国人が生活するようになってきていますが、外国の方と交流を積極的に緑が丘地区青少年育成会が担っているよう、今後とも工夫していきたいと考えています。

泉が丘地区青少年育成会



新たな時代へ ～花いっぱい活動を通して～

泉が丘地区青少年育成会では、地域の方々と多くの行事を協同で行ってききましたが、ここ3年間は新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんど活動が出来ませんでした。中でも唯一活動を続けることができたのが、「花いっぱい運動」です。例年は、5月に子ども会のみなさんに集まってもらい、講習会を開き、各子ども会の花壇づくりを行ってもらっていましたが、新型コロナウイルス感染症の広がりと共に集まることが難しくなり、講習会は中止とせざるを得ませんでした。そんな状況にも関わらず、令和2年こそ若干の子ども会が花壇づくりを休まれましたが、令和3、4年は全子ども会が、一所懸命本当に立派な花壇を作ってくださいました。気候的にも温暖化の影響もあり、育てるのが難しい中で、よくそこまで育ててくれた！と涙が出るくらい感動しました。

今年は、いよいよ多くの活動が再開できそうです、ただし、コロナ前と全く同じというわけではなく、時代にあった形に修正、見直しをしながら、地域の方々と活動していきたいと考えております。新たな試みとして、地域の「盆踊り」も「夏祭り」も装いを新たに今年から再開予定です、

石井地区青少年育成会



仲間と協力してゲームにトライ！

ここ数年、感染症予防の観点から活動制限を余儀なくされておりましたが、やはり地域の子どもたちに少しでも活動する場を提供したいとの思いから、感染症予防を十分講じたうえで徐々に活動を再開させていただきました。

とりわけ、地域の子どもたちのリーダー役を担う高学年の子どもたちを対象とした宿泊体験学習が一番のメイン行事であります。昨年度、一昨年度は開催を見送っており、本年度については熟慮の末、日帰りでの活動として、規模を縮小しながら「うつのみや冒険活動センター」を舞台に活動を行いました。2つのグループに分かれ仲間と協力しながら数々のゲームにトライしてもらいました。リーダーシップを発揮する子、頭脳的に作戦を考える子、積極的にムードを盛り上げる子、持ち前の運動神経を発揮する子・・・様々な個性を生かしながら協力して難題をクリアしていく姿を目の当たりにすると我々大人の方が関心させられます。来年度はぜひ宿泊での開催を、と考えています。

青少年健全育成功労者会長表彰 及び 市青少年健全育成功労者・推進事業者表彰（市長表彰）受賞おめでとうございます

青少年育成市民会議では、構成団体において日ごろから青少年の健全育成に貢献されている方を表彰しております。また、宇都宮市では、長年に渡り育成会・育成団体の長として活動に尽力されている方と、地域と協働し青少年の健全育成に積極的に取り組んでいる事業者の方々を表彰しております。令和4年度の受賞者が決定いたしましたのでご紹介いたします。みなさまの日ごろの活動に感謝と敬意を表するとともに、今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

●青少年健全育成功労者会長表彰 受賞者11名（順不同）



- ・寺門 規子 様 (陽南地区青少年育成会)
- ・柿沼 知子 様 (富士見地区子ども会・青少年育成連絡協議会)
- ・久田 時子 様 (泉が丘地区青少年育成会)
- ・矢口 博士 様 (瑞穂野地区青少年育成会)
- ・阿萬 睦子 様 (横川地区青少年育成会)
- ・福田 一美 様 (城山地区青少年育成会)
- ・鈴木 信尚 様 (宇都宮市子ども会連合会)
- ・木野内 信夫 様 (宇都宮市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会)
- ・徳岡 浩史 様 (公益社団法人宇都宮青年会議所)
- ・佐藤 直美 様 (宇都宮市PTA連合会)
- ・上野 節子 様 (宇都宮厚生保護女性会)

●宇都宮市青少年健全育成功労者 受賞者7名（順不同）

- ・安藤 泰次 様 (中央地区青少年育成会)
- ・石川 清 様 (緑が丘地区青少年育成会)
- ・平沼 毅 様 (横川地区青少年育成会)
- ・田崎 栄一 様 (上河内地区青少年育成会)
- ・福田 治久 様 (宇都宮市PTA連合会)
- ・大橋 房子 様 (宇都宮人権擁護委員協議会宇都宮部会)
- ・檜山 和子 様 (宇都宮市民生委員児童委員協議会)

●宇都宮市青少年健全育成推進事業者表彰

【有限会社とちぎ園芸】

地域コーディネーターとして積極的に地域活動に参加するとともに、学校・地域・企業・ボランティアの繋がりを深める活動を行うことで、子どもたちにとって住みよいまちづくりの推進に貢献していただいております。また、子ども会など団体の要望に応じ、花壇指導や学校での緑化関連講習を実施するなど、草花に関する学びの場や体験機会の提供を行っており、青少年の健全育成にもご協力いただいております。



宇都宮市青少年育成市民会議は、39地区の青少年育成会と25の青少年育成団体で構成されており、未来の宇都宮市を担うたくましい青少年の育成を市民総ぐるみで推進しています。

宇都宮人権擁護委員協議会 宇都宮部会



人権擁護委員協議会 宇都宮部会の取り組み

本協議会は、子どもたちを含むすべての人々の基本的な人権の擁護と人権尊重思想の普及高揚を図るため、25名(R3.4.1現在)の人権擁護委員が人権相談や啓発活動に取り組んでいます。その中でも特に子どもたちに関わる活動としては、人権に関する授業を行う「人権講話」（毎年20校以上の小・中学校で実施）や情操と人権尊重思想の醸成をねらいとした「人権の花運動」（希望する小学校への草花の配付）を行っています。また、いじめの発生防止に向けた「SOSミニレター」や人権意識の啓発に向けた「人権作文」、「人権絵画コンテスト」への協力依頼を各学校に行うとともに、ミニレターの対応や応募作品の審査についても人権擁護委員が分担して行っています。このコロナ禍で例年通りの活動ができない部分もありますが、できるだけ子どもたちに関わっていきたくと考えています。